



2025年2月14日

各 位

会社名 G - F A C T O R Y 株式会社
代表者名 代表取締役社長 片平 雅之
(コード： 3474 東証グロース)
問合せ先 専務取締役管理本部長 田口 由香子
(TEL. 03-5325-6868)

営業外収益及び特別損失の計上並びに通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社グループは、2024年12月期第4四半期連結会計期間（2024年10月1日～2024年12月31日）において、下記の通り営業外収益及び特別損失を計上するとともに、2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の通期連結業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益及び特別損失の計上について

(1) 営業外収益（為替差益）について

当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年9月30日）において、為替差損1千円を営業外費用に計上しておりましたが、為替相場の変動により、当第4四半期連結会計期間（2024年10月1日～2024年12月31日）においては、為替差益39千円を営業外収益に計上いたしました。

なお、これは主として、当社から連結子会社であるGF CAPITAL PTE. LTD. への貸付金の期末換算レートによる評価替えにより生じたものであります。

(2) 特別損失（減損損失）について

営業活動から生じる損益が継続してマイナスである事業及び店舗について今後も収益改善の可能性が低いと判断した部分について、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上いたしました。

これに伴い、2024年12月期第4四半期連結会計期間（2024年10月1日～2024年12月31日）において、減損損失418百万円を特別損失に計上いたしました。

また、当該減損損失の計上に係る税効果会計の対応として、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収が見込まれる部分について、法人税等調整額（益）を115百万円計上いたしました。

2. 業績予想と実績値との差異について

(1) 2024年12月期 通期業績予想と実績値との差 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,261	△16	△27	△70	△10.90
今回実績 (B)	6,348	△20	17	△332	△51.24
増減額 (B－A)	87	△4	44	△262	-
増減率 (%)	1.4	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	5,598	△39	△64	△194	△29.97

(2) 差異の理由

上記1. に記載のとおりであります。

以上